

金沢大学における 市街地公道走行実証実験の概要について

Date/日時 平成28年3月9日（水） 14:00~15:10

Place/会場 キャンパスプラザ京都「第4講義室」

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

Language/使用言語 日本語

Speaker/講演者

菅沼 直樹 氏

金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア 自動運転ユニット
ユニットリーダー、准教授

Abstract/概要

これまで世界各国において自動運転自動車に関する研究が行われてきた。従来は高速道路のみを対象とした自動運転システムが研究されてきたが、近年では市街地をも含めた自動運転システムについても実フィールドにおけるテストが実際に行われるようになってきた。市街地を含めたいわゆるDoor-to-doorでの自動運転はまさに夢の技術であり、これが可能となれば安全快適性の向上を図ることができると同時に、将来のライフスタイルをも変えうる様々な可能性を秘めている。このような自動運転自動車では様々なセンサを用いて周辺環境を認識すると同時に、それらの情報を処理し適切な判断を行う必要がある。本講演では金沢大学において開発した自動運転自動車の概要について述べるとともに、国内の大学としては初の試みとして実施中の市街地における公道走行実証試験の概要とその成果について述べる。

Biography/経歴

菅沼 直樹（すがぬま なおき）

1975年 12月6日生。

2002年 金沢大学大学院博士課程修了。博士（工学）。

2002年 日本学術振興会特別研究員PDを経て、同年金沢大学工学部助手に着任。

2015年 より異分野融合の研究を主任務とする金沢大学新学術創成研究機構に移籍し、
現在同機構自動運転ユニット ユニットリーダ、准教授を務める。

1998年から自動運転自動車の研究を開始し、2015年からは国内の大学として初となる市街地での公道走行実験も開始。

日本ロボット学会、自動車技術会、計測自動制御学会、日本機械学会会員。